

ICT支援員だより

平成29年度 第8号

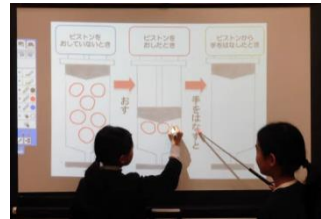
平成29年12月1日 発行



過去の「ICT支援員だより」は次のURLに掲載しています。<http://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/kyouiku/y124/s575/>

ICT導入校の実践事例



- 学校名 美土里小学校
- 実施日 平成29年 9月 28日 (木)
- 学年・教科・単元名 4年 理科【空気と水】
- 本時の目標



授業中にペンを使って説明している様子

実験の結果をもとに、とじこめた空気の体積や押し返す力の変化によって起こる現象とそれぞれの性質を関係付けて考察し、自分の考えを表現する。

○本時の学習展開 (主な学習活動)

	主な学習活動	ICT 活用	
		T (指導者)	S (児童生徒)
導入	1. 課題を確認する。		
	①とじこめた空気をおすと、空気の体積は変化するだろうか。 ②とじこめた空気をおすと、空気をおすほど手ごたえはどうなるだろうか。		
	2. 前時のふり返しをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・とじこめた空気をおすと、体積は小さくなる。 ・空気の体積が小さくなると、手ごたえが大きくなる。 ・押している手を離すと、元の体積に戻ろうとする。 	・前時に行った実験の結果をパワーポイントで写す。	・パワーポイントを見ながら、課題をつかむ。
	3. 本時のめあてを確認する。 とじこめた空気をおしたとき、どうして空気はおし返してくるのだろう。図や絵をつかって説明しよう。		
展開	4. 考察する。 【ペア】→【全体】→【個】	・ホワイトボードで共有したイメージ図を全体で共有するため、パワーポイントで図を写し出す	・前に写し出された図にペンを使って書き込みながら説明する。
	5. 考察をまとめる。 とじこめた空気をおすと、空気はおしちぢめられて体積が小さくなる。体積が小さくなった空気は、元にもどろうとするので、体積が小さくなるほど押し返す力は大きくなる。		
終末	6. 本時のふりかえりをする。 ・体積が小さくなった空気は、元に戻ろうとするので体積が小さくなるほど押し返す力は大きくなることがわかった。		

平成29年 広島県小学校理科研究大会

10月30日（月）に根野小学校において広島県小学校理科研究大会が行われました。根野小学校では、この研究大会に合わせて9月から電子黒板などのICT機器を活用した授業にも取り組まれました。どのような活用をされたのか紹介します。



3年「電気で明かりをつけよう」

絵カードを電子黒板上で動かし、児童の考えを全体で共有するために活用しました。実物投影機は、実際に電気がつくかどうか児童が実験する手元を映すために活用しました。



4年「ものの温度と体積」

学級全体で振り返り、考察するために電子黒板に拡大提示して活用しました。前時までの実験の動画を撮っておき、水と空気の体積の変化を比較して見ることができるように並べて表示しました。



5年「電磁石のはたらき」

実験の動画を見て、前時の実験の振り返りに活用しました。実験結果の数値を表に入れると、棒グラフも表示されるようにエクセルで作成し、電子黒板に拡大提示しました。



6年「発電と電気の利用」

実験結果の数値を表に入れると、棒グラフも表示されるようにエクセルで作成し、電子黒板に拡大提示しました。また、パワーポイントで発光ダイオードに関する写真資料を提示していました。

次号は1月に発行し、ICT活用モデル校のICT実践例を紹介したいと思います。来年もよろしくお願い致します。

